

## ◆ ヒノキの原木を使ったキノコ栽培体験記

松村 泰徳

山菜の代表格といえば、皆さんは何を連想されますか？焼いてよし・炒めてよし・お鍋にもよしと、日本の食卓に欠かせない山菜の一つといえば、キノコ類を外すわけにはいきませんよね！

入手方法といえば、お店で購入する方が大半だとは思いますが、山菜採りや原木栽培を楽しんでいる（楽しんでみたい）方も結構いらっしゃるのではないのでしょうか。原木栽培でいいますと、シイタケの駒菌をクヌギやコナラの原木（1m程に切られたもの）に打込む方法が圧倒的に多いですが（ホームセンターでもシーズンになるとよく見かけます。）、ヒノキの原木でナメタケが栽培できることはご存知ですか？驚いた方もいらっしゃると思いますが、私自身知ったのもつい最近のことで、先日キノコ栽培研修会が奈良県内で開催され、それに参加したことがきっかけでした。

一般的にヒノキといえば建築材料では高級材として扱われ、耐久性・防腐性・防蟻性に優れた木材とされており、本当に収穫できるの？と正直疑問に感じていました。しかし、温度・湿度等条件が合えば発生は十分可能とのことでした。疑問は一つ解けましたが、わざわざ高級材をなぜ使うのでしょうか？研修が進むにつれ、その疑問は林業問題と深く関わっていることが解ってきました。林業が健全な頃は、間伐材も需要があったそうですが、長期化する林業の不振で、現在では間伐材のほとんどは放置されているそうです。そこで農林業関係者で研究が進み本格出荷を始めた地域もあるそうです。

みっちり座学を受講した後は、実際にヒノキの原木に駒菌を打込む作業をさせていただきました。ナメタケの他、タモギタケ・ムキタケ（原木はクヌギ・コナラ）も打込み、お土産に持ち帰らせていただきました！（収穫が楽しみです。）

建築設計者として改めて感じたことは、木材の耐腐朽・耐蟻性に期待するだけでなく、防湿・通気性を考慮した設計を実施し、有用で共感や感動を得られるような木材の活用を実践したいと思いました。



ヒノキ原木からナメタケが！



タモギタケ：鍋や天ぷらにどうぞ。



ムキタケ：トロリした食感。



座学の会場は盛況で、熱心な質問も飛び交った。



作業会場の風景。奥に大量の原木が準備されていた。



ヒノキ原木へ駒菌を打込む風景

### 「住まいるカフェ」



～カフェのマスターとお客さんの様な関係で、  
住まいづくりについて語り合いたいと考えています～

#### ー 生駒山麓のホタル ー

井戸田 精一

毎年6月ごろから各地でホタルが見られるようになります。ホタルは、水のきれいを表すバロメーターです。

私が川づくりに関わって、約10年経ち、下水道整備がされると東大阪でも昔のままの自然が回復できるものと信じています。特に住宅地でホタルが育つのは、新たな環境の時代を感じてほしいからです。私たちの設計思想が伝えられればと思います。

今年で3年目となる東大阪のホタルです。

平成23年2月

インターネットから資料請求があった。  
すぐに資料を送付した。

何度か電話で連絡をとったがなかなか会ってもらえず、堪えきれなくなり、直接お住まいへ訪問する。  
運よく、奥様に対応して頂けたが、インターホンでの会話だけで直接顔を伺うことはできなかった。

平成23年4月

電話でご主人と話す機会があり、土地購入決定の連絡を頂くと、意気揚々となって現地で初めてご挨拶ができた。  
ご主人の第一印象は貫禄があり、恐れてしまった……。そして、土地状況を確認すると・・・隣地との距離が近っ！  
というか裏面には隣地境界線に建物が建っているし、向って右側は境界に積まれているコンクリートブロックが傾いていて、人が入るスペースがない……。

小雨が降った後ですべてのものが水で濡れている中、敷地境界は曖昧なまま、短時間で実測する。

実測して、そのままお住まいのマンションの玄関で短く自己紹介をさせて頂く。(このまま玄関先での業者に終わらない様に何とか家に入りたい！)と心で願うと、お客様から「家に上がりますか？」との一声。(心の中でガッツ!!)

リビングダイニングのゆったりとした場所で簡単に自社ピアーアル、手ごたえのある打合せをすることができた。



中央右の木造2階建て家が、建設予定地です。

取り壊す前の古い家のある状況。



隣地との空気がほとんどない状況。



隣地境界のブロックが傾いて人が入れない状況。

平成23年5月

見積もりを何度か出させて頂いた。当然、新築住宅となるとお客様の目も厳しく、競合相手もかなりシビアに見積もりを作っている。

最終的に3社に絞られ、その中に生き残る事ができた。競合相手は非常にレベルが高く、

1つは【ダブル断熱に無添加住宅!】、もう1つは【構造もすべて無垢材、天然木をこれでもか!とみせる仕様、木を加工前から見学でき、大工さんが手刻みします!】、そして弊社は【外断熱及び換気システムによる高気密高断熱仕様!】

各社、壮絶な営業活動のなか、お客様は非常に厳しい目で業者を選定します。そして……。

平成23年6月

蒸し暑い日が多くなるこの季節に、とうとうお客様は自分の一生の生活をする家を建てる業者の選定をします!

お客様から「片山工務店さんをお願いします!」と連絡を頂く。

次回に続く。

## ◆ 編集後記

ヒノキの原木でこの栽培は、建築関係者には、大切なお話です。木を使った家づくりは、素敵なことですが、ヒノキを使う場所や家の維持管理に注意して設計をしなければならないのは言うまでもありません。

新メンバーに加わった片山さんの仕事を頂いた時の感動は、建物の出来上がりでも伝わってきます。木造にこだわり、多様なプランに挑戦する工務店です。デザインへのこだわりでも魅力的な仕事をされておりますので、これからの活躍を期待しています。  
(井戸田 精一)

## ◆ 編集メンバー

井戸田 精一	井戸田精一アトリエ
辻 祐司	辻 建築設計室
橋爪 恒平	atelier nest -アトリエネスト-
松村 泰徳	松村泰徳建築事務所
片山 敏浩	株式会社 片山工務店

「アーキテクトキャラバン」は、建築に携わる有志が集まり、その活動内容や住まいに関する情報などを、広く皆様へお届けできる場として、年4回季刊誌形式にて発行しております。

また、住まいの相談会、勉強会なども企画して参ります。ご意見・ご感想・相談等御座いましたら、右記事務局までご連絡頂きます様宜しくお願い致します。

## 編集・発行 [アーキテクトキャラバン]

大阪事務局 / 辻 建築設計室  
大阪市中央区大手通1丁目3-7  
日宝大手ビル4F  
TEL : 06-6949-8090  
FAX : 06-6949-8074  
E-mail: tsujiken-tenma1007  
@hop.ocn.ne.jp

奈良事務局 / 松村泰徳建築事務所  
奈良県葛城市北花内261-5  
松村ビル 2F-WEST  
TEL : 0745-69-5938  
FAX : 0745-60-6524  
E-mail: contact@ym-arc.jp  
URL : http://www.ym-arc.jp

Copy right 2010-2011 Architect Caravan All rights reserved